

E

東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

東野高等学校 校長 平井 廣治

2 学期を始めるにあたって

謹啓

初秋の候、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今年の夏は特に暑さが厳しい日が続きましたが、熱中症等に気を付けながら、夏休みの間でも部活動や学習に励む生徒の姿が校内各所で見られました。己を磨くためにした努力は、必ずや成長につながる大きな実りとなると信じています。

さて、2 学期を始めるにあたって、始業式では以下のような話をいたしました。

それぞれに過ごした夏休みが終わり、いよいよ 2 学期のスタートです。始業式は一つの節目、なので今日はこの「節目」をテーマに話をしたいと思います。「節目」とは、木材や竹の節のある部分を意味する言葉ですが、それとともに、物事の区切りを意味します。それぞれの夏に区切りをつけるとともに、新たな目標を持って 2 学期に臨みましょう。

「節目」といえば、今年の夏は第二次世界大戦の終結から 80 年の節目となる夏でした。1 学期の終業式では、この夏に「平和」の大切さについて考えて欲しいと述べました。何かについて考える時、それとは真逆のものから考えてみるというのも一つの方法です。たとえば、「どうすれば成功できるのか？」を考える際には、まず「どうしたら失敗するのか？」を考えてみる。失敗の条件や要因が具体的にわかると、どうすれば成功することができるのか、その道筋が鮮明になる。真逆のものから考えることは、視野を広げ、問題の本質を掴むうえで非常に有効です。私はこの夏、「平和」について考えるにあたって、まずは対極にある「戦争」について、それをテーマにしたドキュメンタリーや特集を見たり、それを題材にした書籍を読んだりする中で、改めて考えました。なぜ世界を巻き込んだ大戦争が起きたのか、その戦争の様子はどうだったのか、戦争中の人々の生活はどうなっていったのか、そしてどれだけの人々の命が失われていったのか…「戦争」について考えれば考えるほど、いま私たちが享受している「平和」の大切さを強く感じました。自分のやりたいことができ、自分の言いたいことを言え、将来のことを考えることができる。現在では誰もが当たり前のように思っているこれらのことが、いかに幸せなことなのかを再確認するとともに、この幸せを将来につないでいかねばならないという責任を改めて感じています。

さて、今日から 2 学期です。東野高校の 2 学期は、「3 種の WEEK」の一つでもある「芸術 WEEK」からのスタートです。この後、各クラスで合唱祭に向けての練習も一段と本格化し、校内が「芸術 WEEK」の雰囲気になっていくのだろうと、今から楽しみにしています。二日間に及ぶ盈華祭に向けては、夏休みの間から文化祭実行委員の皆さんを中心に様々な準備が進んでいる様子を目にしました。今年は全クラスが力を合わせて完成させる「大きな絵」も復活し、まさに学校全体として盈華祭に向かっていく様子を感じられます。

学校法人 東野高等学校

盈進学園

〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1

Phone 04-2934-5292 (代表) Fax 04-2934-4665

EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL

SCHOOL FOUNDATION

112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN

Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665



東野便り

HIGASHINO DAYORI

学校法人
盈進学園 東野高等学校
総務部

ここから各クラス企画に向けての動きも活発化してくると思いますが、皆さんの主体性が大いに発揮され、素晴らしい文化祭になるよう願っています。なお、今年度は「芸術 WEEK」期間中の9月11日（木）に、所沢市民文化センターミュージアムにて周年記念式典を開催します。この式典は、学園創立100周年・学校開校40周年という大きな節目を迎えた盈進学園東野高等学校のこれまでの歩みを振り返るとともに、この先の100年に向けて歩み出すうえでも、非常に重要なものとなります。100年に一度の特別な瞬間、その時に在校生としてこの歴史ある東野高校とともに学んでいる皆さんには、是非誇りを持ってこの式典に参加してもらいたいと思います。

「芸術 WEEK」が終わると、9月末から10月はじめにかけて、今年度2回目の「英検 WEEK」が待っています。前回の「英検 WEEK」で残念ながら目標を達成できなかった人は「今度こそ！」という心意気で、見事合格を勝ち取った人は「今回も！」という意気込みで、それぞれの壁にチャレンジしてもらいたいと思います。

「芸術 WEEK」や「英検 WEEK」といった学校全体の動きの他にも、2学期は学年ごとに重要な動きが出てきます。1年生は、コース・科目選択に向けて、自らの進むべき道をどうするのか、自分自身と真剣に向き合ってください。よく考えないでの決定や、情報不足での決定は大きな後悔につながります。学年の先生方や保護者の方とも十分に相談したうえで、決断するようにしてください。2年生は、いよいよ修学旅行です。カナダと沖縄、二方面に分かれますが、それぞれで他の行事では得られない貴重な経験が得られることでしょう。より有意義な経験を得るためにも、事前学習をしっかりと行ったうえで現地に向かえるように準備を進めてください。3年生は、卒業後の進路を切り拓く時期です。特に総合型選抜や学校推薦型選抜での大学進学を考えている人は、受験本番を迎えます。自分自身の進路は、自らの力でしか勝ち取れません。粘り強く努力を続け、勝負の時に挑んでください。学年ごとに違いはあれども、「知識は第一の宝、品行は最高の美、忍耐は無上の力」という建学の精神を胸にとめ、それぞれにとってこの2学期が充実したものになるよう、一日一日を大切にしながら過ごして行ってください。

学園創立100周年、学校開校40周年を記念して開催する周年記念式典がいよいよ近づいてまいりました。9月11日（木）に所沢市民文化センターミュージアムで行う式典では、これまでの歩みを振り返るとともに、本校が未来に向けて力強い一歩を踏み出すその瞬間を皆様と共有させていただきたいと存じます。保護者の皆様方におかれましては、今後とも本校の教育活動に変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

本日、『盈進学園創立100周年・学校開校40周年記念誌』を配布いたしました。保護者の方にも是非ご覧いただき、本校が歩んできた軌跡と未来の可能性について感じていただきたいと思います。

学校法人 東野高等学校
盈進学園〒358-8558 埼玉県入間市二本木112-1
Phone 04-2934-5292(代表) Fax 04-2934-4665EISHIN GAKUEN HIGASHINO HIGH SCHOOL
SCHOOL FOUNDATION112-1 Nihongi, Iruma City, Saitama Prefecture 358-8558 JAPAN
Phone +81-4-2934-5292 Fax +81-4-2934-4665